

No	補助・単独	交付対象 事業の名称	①事業の概要 ②事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策 との関係	A（単位：円）						事業実績 （経費内容）	事業効果	所管課	
					総事業費 （決算額）	B 補助対象 事業費	C 国庫補助額	D 交付金 充当額	E その他	F 一般財源				G 補助対象外 経費
合計					543,511,626	543,511,626	6,675,000	472,090,000	9,179,000	55,567,626	0			
1	単	川俣町新型コロナウイルス感染症対策本部からのお知らせ発行事業	①町からの新型コロナウイルス対策に係るお知らせを発行し、町民への情報提供及び感染防止対策の徹底を図る。 ②町民	I-6. 情報発信の充実	5,203,889	5,203,889	0	4,795,120	0	408,769	0	事業費計：5,203,889円 ・郵便料:220,060円 ・折込料:108,000円 ・用紙代:515,594円 ・封筒代:41,910円 ・印刷費:157,080円 ・配達割増分:1,865,445円 ・圧着機購入費:2,073,500円 ・印刷製本費:222,300円	毎月1日に発行している広報誌に新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る新しい生活習慣の実施や、個人消費者や町内事業者への財政支援事業の情報を掲載し、全町民への周知を図ることができた。また、広報誌に掲載しきれない新型コロナウイルス対策本部からのお知らせをまとめたチラシを作成し、広報誌への折込みを行い、加えて月中旬にもチラシを発行し、漏れの無い情報発信を行った。なお、中旬発行分のチラシについては、直接行政区長へ郵送を行い、迅速に情報の周知を図ることができた。	総務課
2	単	避難所新型コロナウイルス感染症対策強化事業	①避難所における新型コロナウイルス感染症の対策を徹底し、感染及びクラスター発生対策を強化する。 ②災害避難所、町民	I-1. マスク・消毒液等の確保	1,640,760	1,640,760	0	756,289	820,000	64,471	0	事業費計：1,640,760円 ・パーテーション：1,320,000円 ・防災ベッド：165,000円 ・非接触型温度測定器：94,160円 ・感染防護服セット：61,600円	避難所における新型コロナウイルス感染症への対策のための備蓄品等を購入し、災害時の感染拡大防止への準備を図ることができた。 段ボール製パーテーション 100セット 段ボール製ベッド 30セット 非接触型温度測定器 10基 感染対策防護服 20セット	総務課
3	単	新型コロナウイルス対策事業(マスク配布)	①新型コロナウイルス感染拡大防止を目的に、満16歳以上の住民に対し、マスクを配布する。なお、配布するマスクは町内の企業が製造したものとし、町内企業を支援も図る。 ②満16歳以上及び妊婦、介護施設入所者を除く町民11,630人対象	I-1. マスク・消毒液等の確保	28,721,428	28,721,428	0	26,465,339	0	2,256,089	0	事業費計：28,721,428円 ・川俣町商工会委託費：27,786,000円 ・郵便料：817,178円 ・封筒印刷製本費：118,250円	・配布者数 11,564件（配付率99.4%） 町民へのマスク配布により新型コロナウイルス感染症への感染防止対策を勧奨し、また町内企業が製造したマスクを使用することで、町内企業の経営悪化防止対策にも寄与できた。	保健福祉課
4	単	新型コロナウイルス対策事業(介護施設)	①介護施設等での新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、衛生資材を配布する。 ②介護施設、介護施設利用者、介護施設職員	I-1. マスク・消毒液等の確保	627,940	627,940	0	578,615	0	49,325	0	事業費計：627,940円 ・手指消毒用アルコール：248,440円 ・不織布マスク：280,500円 ・ブラウチックガウン：99,000円	・配布事業所 23か所 ・配布総数 不織布マスク9,879枚、手指消毒用アルコール1リットル×90本、プラスチックガウン580枚 衛生材料が入手困難な時期に、町が対応することで施設の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に寄与することができた。	保健福祉課
5	単	新型コロナウイルス感染症予防対策事業（発熱外来）	①医療機関において新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために発熱者とそれ以外の方の動線を区別することを目的に発熱者専用の診察室を設置する。 ②町内の医療機関、町民	I-3. 医療提供体制の強化	2,722,598	2,722,598	0	2,508,736	0	213,862	0	事業費計：2,722,598円 ・発熱外来の設置：850,773円 ・発熱外来の設置：991,825円 ・陰圧ブースの設置：880,000円	・配備箇所 医療機関3箇所 医療機関にプレハブ、プレハブ内のモニター、陰圧ブースの設置を実施することにより、医療者、発熱者以外の受診者の新型コロナウイルス感染防止対策に備えることができた。	保健福祉課
6	単	新型コロナウイルス感染症予防対策事業（集団検診）	①各種集団検診・健康相談において新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため受診者・医療従事者のための衛生資材を準備する。また、体温測定を行い、受診者の体調把握を図る。 ②受診者、医療従事者	I-1. マスク・消毒液等の確保	249,558	249,558	0	229,955	0	19,603	0	事業費計：249,558円 ・アクリル板：166,320円 ・非接触式体温計：28,600円 ・フェイスシールド・ビニール手袋等：54,638円	・配備箇所 集団検診会場1か所、健康相談会場延べ37か所指定 会場に新型コロナ感染症対策に係る衛生用品等を備蓄することにより、参加者の感染防止対策を実施することができた。	保健福祉課
7	単	新型コロナウイルス感染症予防対策事業（妊婦マスク）	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市場のマスク供給が不安定な状況である中で、特に配慮が必要な妊婦へのマスクが不足しているため、優先的にマスクを配布し、感染予防をすることを目的とする。 ②妊婦	I-1. マスク・消毒液等の確保	161,940	161,940	0	149,219	0	12,721	0	事業費計：161,940円 ・妊婦用布マスク：155,100円 ・郵便料：6,840円	・配布者 47名 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により調達が困難となったマスク等を妊婦に配布したことで、感染拡大防止、不安軽減に寄与した。	保健福祉課
8	単	公共的空間安全・安心確保事業	①公共施設(社会教育施設)の、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を図る。 ②中央公民館	I-2. 検査体制の強化と感染の早期発見	2,414,782	2,414,782	0	2,225,099	0	189,683	0	事業費計：2,414,782円 ・アルコール消毒液、消毒用品：192,560円 ・マスク、フェイスシールド：93,926円 ・ペーパータオル、ハンドソープ他：16,296円 ・サーモグラフィシステム1台：2,112,000円	衛生用品を配備し、来館者の新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じることができた。 また、複数の来館者を一度に検温できるシステムを導入し、イベント開催時などでも新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を図り安心・安全な事業の実施ができた。	生涯学習課

No	補助・単独	交付対象 事業の名称	①事業の概要 ②事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策 との関係	A（単位：円）						G 補助対象外 経費	事業実績 （経費内容）	事業効果	所管課
					総事業費 （決算額）	B 補助対象 事業費	C 国庫補助額	D 交付金 充当額	E その他	F 一般財源				
9	単	町立小中学校衛生管理用品購入事業	①町立小中学校においてマスクや消毒液等衛生管理用品を購入し、新型コロナウイルス感染症の感染防止を図る。 ②児童・生徒	I-1. マスク・消毒液等の確保	453,043	453,043	0	417,456	0	35,587	0	事業費計：453,043円 ・使い捨て手袋 29,000円 ・使い捨て歯鏡 1,342円 ・マスク 22,000円 ・体温計 10,470円 ・温度湿度計 4,180円 ・フェイスシールド等 37,070円 ・消毒用アルコール等 265,372円 ・石けん液 53,869円 ・スプレーボトル等 13,690円 ・アルコールタオル 8,800円 ・自動手指消毒器 7,250円	対象：町内小学校4校、教育委員会 小学校における感染症対策用物品の購入を補助した。これにより、学校内における新型コロナウイルス感染症の感染防止に寄与することができた。	学校教育課
10	単	かわまたまろう2020	①新型コロナウイルス感染症の拡大により、多大な影響を受けている町内事業者を支援し、本町経済の安定と、町特産品の振興、地域活力の復活を目的とする。 ②町民、観光客、町内事業所、道の駅かわまた	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	4,874,100	4,874,100	0	4,491,236	0	382,864	0	事業費計：4,874,100円 ・イベント運営委託料：3,803,800円 ・維持管理業務委託料：1,070,300円	イベントの開催及び道の駅の環境整備を実施することにより、集客につなげることができ、新型コロナウイルス感染症により多大な影響を受けた飲食店を中心とする町内事業者の支援、町内経済の活性化に寄与することができた。	産業課
11	単	川俣町新型コロナウイルス感染症対策に係る事業者支援	①新型コロナウイルス感染症の長期化・拡大により、多大な影響を受けている町内事業所の事業継続、雇用の維持等、町内経済の維持を目的とする。事業者の資金繰りに係る負担の軽減、労働者の雇用維持、町内経済の維持を図ることができる。 ②町内事業所	Ⅱ-1. 雇用の維持	72,459,095	72,459,095	0	66,767,380	0	5,691,715	0	事業費計：72,459,095円 ・消耗品：1,738円 ・事業維持等給付金：43,100,000円 ・信用保証料補助金：9,457,357円 ・雇用維持補助金：19,900,000円	・事業維持等給付金支給件数 143件 ・信用保証料補助金支給件数 20件 ・雇用維持補助金支給件数 71件 新型コロナウイルス感染症の影響により。業績が悪化している町内事業者の雇用の確保や事業維持に係る負担を軽減することにより事業の継続と本町経済の安定に寄与することができた。 また、福島県の新型コロナウイルス対策特別資金を活用して融資を受けた事業者に対して、信用保証料の補助を実施し、コロナ禍で厳しい経営状況にある事業者の資金繰り支援を行うことで、町内事業者の事業継続に寄与することができた。	産業課
12	単	川俣町新型コロナウイルス感染症対策プレミアム付商品券発行事業	①新型コロナウイルス感染症の長期化・拡大により、多大な影響を受けている飲食店等を中心とする町内事業所の支援と町内経済の活性化を目的とする。商品券を町内で使用することにより、町内での消費の活性化が期待できる。 ②町民、川俣シルクスタンプ会	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	9,894,500	9,894,500	0	9,117,280	0	777,220	0	事業費計：9,894,500円 ・商工業振興事業（プレミアム付商品券発行事業）補助金：9,894,500円	プレミアム付商品券発行口数（世帯）：3,998口（1口5,000円で7,500円分の商品券（500円×15枚） 商品券を町内で使用することにより、新型コロナウイルス感染症の長期化・拡大により、多大な影響を受けている飲食店等を中心とする町内事業所の支援と町内経済の活性化に寄与した。	産業課
13	単	公共施設等の管理維持体制持続化事業	①公共施設の新型コロナウイルス感染症対策を実施し、感染症拡大抑制を図る。 ②町民、町職員、役場庁舎	I-1. マスク・消毒液等の確保	2,078,792	2,078,792	0	1,915,501	0	163,291	0	事業費計：2,078,792円 ・消毒液、ペーパータオル等消耗品：610,304円 ・アクリル板、パーテーション等：597,360円 ・体温測定カメラ2台、非接触体温計等：779,350円 ・マスク等消耗品：91,778円	対象施設：役場本庁舎、西分庁舎 来庁者用体温測定カメラを設置するとともに、庁舎内の飛沫防止対策としてアクリル板、パーテーション等を設置し、また、定期的に消毒清掃を実施することにより、来庁者及び職員の新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を実施することができた。	総務課
14	単	紙戸籍（除籍）の電子化事業	①紙で管理している戸籍簿の電子化により事務効率の向上を図る。交付対象者が戸籍住民窓口へ、長時間滞在することを防止し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図る。 ②町民、戸籍住民窓口	I-1. マスク・消毒液等の確保	9,130,000	9,130,000	0	8,412,832	0	717,168	0	事業費計：9,130,000円 ・紙戸籍（除籍）電子化・追加セットアップ業務委託料：9,130,000円	戸籍簿の電子化により、従来の手順が不要となり、窓口対応の時間短縮ができ、密状態を防ぐことができた。	町民税務課
15	単	郵送申請活用事業（一部 国民健康保険特別会計繰出）	①児童手当現況届や国民健康保険等の手続きを窓口にて対応していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、郵送による申請を実施する。 ②児童手当受給者 600名、国民健康保険対象者 1500名	I-6. 情報発信の充実	70,910	70,910	0	65,340	0	5,570	0	事業費計：70,910円 ・児童手当郵便料（5月分）：50,568円 ・児童手当郵便料（6月分）：7,576円 ・返信用後納郵便料（国保）：12,766円	窓口で対応していた業務を郵送で実施することにより、窓口での密状態を防止し、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じることができた。	保健福祉課 子育て支援課
16	単	子どもの屋内運動場施設空調整備事業	①子どもの屋内運動場に網戸を設置し、定期的に衛生的な換気を行うことで、新型コロナウイルス感染症の感染予防を図る。 ②子どもの屋内運動場1か所	I-1. マスク・消毒液等の確保	97,350	97,350	0	89,703	0	7,647	0	事業費計：97,350円 ・網戸設置工事費：97,350円	対象施設 1施設 網戸設置により、定期的に換気を行うことができ、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じることができた。	子育て支援課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	①事業の概要 ②事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策との関係	A（単位：円）						事業実績 （経費内容）	事業効果	所管課	
					総事業費 （決算額）	B 補助対象事業費	C 国庫補助額	D 交付金充当額	E その他	F 一般財源				G 補助対象外経費
17	単	新型コロナウイルス対策事業(児童福祉関連施設)	①児童福祉関連施設等での新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、衛生資材等を整備する。 ②児童福祉関連施設等（幼稚園・保育所・放課後児童クラブ・子どもの屋内運動場・たのしい教室）	I-1. マスク・消毒液等の確保	1,603,377	1,603,377	0	1,477,431	0	125,946	0	事業費計：1,603,377円 ・ハイター：696円 ・ミルトン：102,300円 ・使い捨て手袋：1,718円 ・体温計：109,230円 ・マスク：21,000円 ・クリクラウォーター：5,840円 ・アルコール：74,047円 ・ハndsプレー：682円 ・アルコールタオル：2,574円 ・オートディスペンサー：83,760円 ・空気清浄機：187,000円 ・サーモカメラ：184,800円 ・ウェルバス：10,890円 ・歯鏡レンタル料：9,680円 ・ベッド収納台：143,880円 ・除雪機：495,000円 ・おさんぽカー：84,150円 ・スティッククリーナー：10,560円 ・制菌カーテン：75,570円	対象施設 計11施設 ・幼稚園 2施設 ・保育所 1施設 ・放課後児童クラブ 1施設 ・子どもの屋内運動場 1施設 ・放課後子ども教室（たのしい教室）6施設 児童福祉関連施設等に衛生用品等を整備することにより、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じることができた。	子育て支援課
18	単	図書消毒機購入事業	①コロナ禍でも安心・安全に図書室を利用してもらうために、図書消毒機を整備する。 ④中央公民館図書室、図書室利用者	I-1. マスク・消毒液等の確保	1,162,700	1,162,700	0	1,071,369	0	91,331	0	事業費計：1,162,700円 ・図書消毒機：1,111,000円 ・消耗品（紫外線ランプ10本・消臭抗菌剤4個）：51,700円	図書室利用者数：約6,500名（延べ） 図書消毒機の導入によりコロナ感染症対策が図られ、図書室を利用される方に対し、より安心できる読書環境を提供することができた。	生涯学習課
19	単	オンラインコスキン支援事業	①コスキン・エン・ハポン2020が新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となったことに伴い、オンラインでの演奏動画の配信や道の駅川俣の野外ステージからライブ配信を行うイベントを開催するための補助金を交付する。 ②ケーナの響くまちづくり実行委員会	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	1,142,690	1,142,690	0	1,052,931	0	89,759	0	事業費計：1,142,690円 ・WEB配信費用：935,000円 ・新聞広告料：66,000円 ・通信運搬費：6,586円 ・謝礼：80,000円 ・ソフト等使用料：26,617円 ・著作権使用料：10,560円 ・消耗品（マスク・ラベルシール等）：17,927円	出演チーム：128組（延べ634名） 視聴者数約10,000名（延べ） 毎年、町が支援している音楽イベントは新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために中止としたが、自宅でも楽しんでもらえるように代替イベントとして音楽動画をWEB配信イベントを実施し、新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら町の文化振興、地域の活性化に寄与するイベントを開催することができた。	生涯学習課
20	単	社会教育施設等における感染防止対策（羽山の森美術館）	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、収蔵庫を改修し、収蔵機能を拡充させることにより、収蔵品を整理し感染拡大を防止を図る。 ②羽山の森美術館	I-1. マスク・消毒液等の確保	1,885,400	1,885,400	0	1,737,301	0	148,099	0	事業費計：1,885,400円 ・収蔵室改修工事：1,527,900円 ・収蔵室用棚設置工事：357,500円	入場者数：2,721名（R2年度） 施設改修により収蔵庫内の活動スペースが確保できるようになり、密を避け、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら活動が可能となった。また、収蔵機能も増えたことにより、コロナ禍が終息した後の観光、交流人口の増加も見込める施設となった。	生涯学習課
21	単	社会教育施設等における感染防止対策（おじまふるさと交流館）	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、換気機能付き空調機を設置するなどの施設改修や消耗品等の購入を行う。なお、宿泊施設のため緊急時には避難所等として重要な役割を担うことから、安心・安全な感染予防対策と利用環境の確保を図る。 ②おじまふるさと交流館	I-1. マスク・消毒液等の確保	8,396,846	8,396,846	0	7,737,268	0	659,578	0	事業費計：8,396,846円 ・施設改修工事（換気機能付きエアコン設置・LED照明工事・トイレ洋式化工事）：7,920,000円 ・消耗品（ペーパータオル・ビニール手袋・ハンドソープ・フェイスシールド等）：102,846円 ・洗濯機購入費：58,300円 ・体温検知機能付き顔認証カメラ1台：315,700円	宿泊者数：484名、施設利用者数：3125名（R2年度） 衛生用品の設置や空調設備の改修をすることにより施設内の必要な換気量が確保され、利用者の新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じることができた。	生涯学習課
22	単	川俣町社会体育施設新型コロナウイルス感染症防止対策事業	①公共施設(社会体育施設)の新型コロナウイルス感染症の感染症拡大防止を図るため、感染対策備品等の整備を図る。 ②社会体育施設利用者及び社会体育施設（体育館・合宿所）	I-1. マスク・消毒液等の確保	403,280	403,280	0	371,602	0	31,678	0	事業費計：403,280円 ・非接触型体温計：145,500円 ・アルコール製剤等：257,780円	体育館等の社会体育施設にアルコール製剤を置くことで来館者の新型コロナウイルス感染症の感染症防止対策を図ることができた。 また、各種大会において、非接触型体温計を使用し参加者の体温を確認し安心・安全に開催することができた。	生涯学習課
23	単	川俣町社会体育施設新型コロナウイルス感染症防止設備設置事業	①公共施設(社会体育施設)の新型コロナウイルス感染症の感染症拡大防止を図るため、施設の感染防止対策の整備をする。 ②社会体育施設利用者及び社会体育施設（体育館・合宿所・農村広場）	I-1. マスク・消毒液等の確保	39,814,500	39,814,500	0	36,687,042	0	3,127,458	0	事業費計：39,814,500円 ・体温検知カメラ：684,200円 ・空気清浄機：275,000円 ・エアコン等：38,855,300円	体育館等の社会体育施設に体温検知カメラを設置し来館者の体温を確認、また空気清浄機、エアコンを設置することで施設利用者の新型コロナウイルス感染症の感染症防止対策を図ることができた。	生涯学習課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	①事業の概要 ②事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策との関係	A（単位：円）						事業実績（経費内容）	事業効果	所管課	
					総事業費（決算額）	B 補助対象事業費	C 国庫補助額	D 交付金充当額	E その他	F 一般財源				G 補助対象外経費
24	単	学校テレビ会議環境整備事業	①新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、対面方式を極力排除しながら学校間での情報共有、協議、研究等を円滑に行うため、川俣小学校及び川俣中学校と役場庁舎間の光ケーブル敷設とテレビ会議機器一式を整備する。 ②小・中学校、教職員、町職員	Ⅳ-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	22,096,580	22,096,580	0	20,360,877	0	1,735,703	0	事業費計：22,096,580円 ・学校間光ケーブル敷設工事：14,740,000円 ・光ケーブル敷設設計業務委託：1,320,000円 ・光ケーブル敷設積算業務委託： 772,200円 ・光ケーブル敷設工事管理業務： 877,800円 ・光ケーブル電力柱共架審査費： 8,580円 ・テレビ会議システム（8台）：4,378,000円	コロナ禍において校長会や学校間での交流を実施するにあたり、安定した通信状況と整備されたテレビ会議システムにより円滑な学校経営に寄与することができた。	学校教育課
25	単	GIGAスクール整備事業（町単独事業分）	①GIGAスクール構想に伴い、町内の小中学校のICT環境の整備を行い、コロナ禍での児童・生徒の学びの保証を図る。 ②小・中学校、児童・生徒、教職員	Ⅰ-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	53,680,000	53,680,000	0	49,463,397	0	4,216,603	0	事業費計：53,680,000円 ・タブレット（790台） 53,680,000円	1人1台タブレットを整備したことにより、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休業時のオンライン学習を行うための基盤が整備できた。	学校教育課
26	単	川俣町地域医療（遠隔診療）環境整備事業	①新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン等での遠隔診療を実施するための環境を整備する。 ②町民、医療従事者	Ⅰ-3. 医療提供体制の強化	1,167,109	1,167,109	0	1,075,432	0	91,677	0	事業費計：1,167,109円 ・補助金：1,167,109円	・町内医療機関への遠隔診療環境整備実施（タブレット端末9台、スマートフォン2台、無線wi-fi4台） コロナ禍において需要が高まっている、オンライン診療に必要な環境整備に対して補助金を交付し、結果として対面による診療によらず、オンラインでの診療をすすめることができ、新型コロナウイルス感染症の感染症予防に寄与した。	保健福祉課
27	単	新型コロナウイルス感染症対策町特産品振興事業	①新型コロナウイルス感染症の拡大・長期化により、多大な影響を受けている町の特産品の支援を目的とする。 ②町民、町内事業者等	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	7,880,124	7,880,124	0	7,261,134	0	618,990	0	事業費計：7,880,124円 ・新型コロナウイルス感染症対策地産地消補助金：6,750,000円 ・特産品PR事業費 1,130,124円	新型コロナウイルス感染症対策地産地消補助金交付先件数：8件（川俣シャモ、川俣シルク） 各種イベント時の特産品のPRとしてプレゼントやパネルの設置及び、特産品の販路拡大や更なるPRに要した費用の一部を補助することで、新型コロナウイルス感染症により多大な影響を受けた町の特産品を支援し、町内経済の活性化に寄与することができた。	産業課
28	単	古閑裕而ゆかりのまちかわまたPR事業費	①古閑裕而氏をモデルにしたNHK連続テレビ小説「エール」の放送を契機とし、本町へ来訪してもらうための仕掛けづくりを行う。本町の観光資源の魅力を発信し、来町者の増加によって、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んでいる地域経済の支援を図る。 ②町民、町内事業所、観光客	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	17,812,140	17,812,140	0	8,733,625	8,334,000	744,515	0	事業費計：17,812,140円 ・印刷製本費:11,988,790円 ・スタンプラリー等消耗品費:823,350円 ・記念展開催業務委託料：5,000,000円	古閑裕而ゆかりの地かわまた お散歩マップ印刷：6万部 スタンプラリー台紙枚数：6万部 「エール」特別ブック枚数：4万部 NHK番組情報誌「ステラ」特別編集版枚数：3万部 街なか商店街案内マップ枚数：2万部 PRのぼり旗枚数：200枚 古閑裕而スタンプラリー及び記念展参加者数：37,397名 古閑裕而スタンプラリーや各種PR冊子等により、本町を訪れていただく仕掛けづくりをし、本町の観光資源の魅力を改めて発信したことで、多くの来町者を取り戻し、新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ地域経済力の活性化に寄与した。	産業課
29	単	介護予防事業の実施等に係る感染防止対策費	①介護予防事業や高齢者の通いの場（サロン）、町内の障がい者福祉施設での新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を強化する。 ②介護予防事業・サロン等の参加者、福祉施設（5施設）	Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	1,352,000	1,352,000	0	1,245,800	0	106,200	0	事業費計：1,352,000円 ・障がい者福祉施設、高齢者サロンの衛生材料費：1,232,000円 ・介護予防事業活動補助金：120,000円	・障がい者福祉施設 6か所、高齢者サロン37か所活動補助金1か所 コロナ禍での活動継続支援のため施設に対する衛生材料の配布と、感染防止対策のために広い会場を借り上げたサロンに対し補助金を交付したことにより、安心・安全に福祉施設及びサロンの活動が継続できた。	保健福祉課

No	補助・単独	交付対象 事業の名称	①事業の概要 ②事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策 との関係	A（単位：円）						事業実績 （経費内容）	事業効果	所管課	
					総事業費 （決算額）	B 補助対象 事業費	C 国庫補助額	D 交付金 充当額	E その他	F 一般財源				G 補助対象外 経費
30	単	コロナ禍における地域 支え合い事例集制作事業（一部 介護保険特別会計繰出）	①生活支援コーディネーターによるコロナ禍における感染予防対策を取り入れた新しい生活様式による地域支えあい活動の推進と、町民への普及のため、事例集を作成する。 ②町民	I-6. 情報発信の 充実	8,217,228	8,217,228	0	2,947,242	0	5,269,986	0	事業費計：8,217,228円 ・介護保険特別会計による生活支援コーディネーター委託料の町負担分（19.25%）：5,305,000円 ・生活支援体制整備事業支援業務委託料の町負担分（19.25%）：907,742円 ・コロナ禍における地域支え合い事例集制作事業業務費：2,004,486円	・6,000部作製（全戸及び各サロン等へ配布） 例年では地域づくりの勉強会や発表会を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため実施が難しくなっている。 そのため、新型コロナウイルス感染症への対策を取りながらも地域の支え合い活動を実施している団体の事例等を冊子にまとめ、冊子を全戸配布及び各サロン等で説明することで、コロナ禍での地域支え合い活動を周知し、活動を支援した。	保健福祉課
31	単	民生委員活動のための 感染防止対策費	①コロナ禍での民生委員の訪問活動の際し、感染防止対策を行うことにより安全・安心な活動ができるように民生委員の支援を行う。 ②民生委員協議会	I-1. マスク・消毒液等の 確保	176,040	176,040	0	162,212	0	13,828	0	事業費計：176,040円 ・民生委員協議会補助金：176,040円	・民生・児童委員52名　不織布マスク、手指消毒用アルコール配布 民生委員の活動として、家庭訪問等で現状を把握することが大切であるが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、活動が難しくなった。 そのため、感染防止対策として衛生用品を配布したことにより、民生委員の活動を維持し、社会福祉の増進に寄与することができた。	保健福祉課
32	単	避難所における新型コロナウイルス 感染症予防衛生整備事業	①災害発生時の避難所において新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための環境を整備する。 ②町民、災害避難所	I-1. マスク・消毒液等の 確保	1,011,581	1,011,581	0	932,120	0	79,461	0	事業費計：1,011,581円 ・ハンドソープ等：79,399円 ・防護服等：66,300円 ・ビニール手袋アルコール等：160,908円 ・加湿器：112,734円 ・オキシメーター等：325,875円 ・ゴミ袋、タオル等：41,680円 ・コンテナ、テント等：224,685円	・配備箇所　指定緊急避難所等18箇所 避難所等に災害時非常用備蓄品として新型コロナ感染症対策に係る用品等を備蓄することにより、避難者の感染防止対策に備えることができた。	保健福祉課
33	単	役場庁舎内行政ネットワーク無線 化事業	①庁舎内行政ネットワークの無線化により庁内での新型コロナウイルス感染症の感染症拡大防止を図る。また、執務場所を限定せず、庁舎執務スペースの柔軟な活用を可能とすることで、3密防止を図る。 ②町職員、役場庁舎	IV-4. 公共投資の 早期執行等	14,157,000	14,157,000	0	13,200,000	0	957,000	0	事業費計：14,157,000円 本庁舎無線ネットワーク構築業務委託料8,955,100円 無線AP（19台）　3,032,590円 PoEスイッチ（6台）　882,320円 無線アクセスポイント取付等工事費1,287,000円	庁舎内行政ネットワークの無線化を行い、執務場所を限定せず、庁舎執務スペースの柔軟な活用を可能とすることで、3密状態を解消し、新型コロナウイルス感染症の感染症拡大抑制を図ることができた。	企画財政課
34	単	テレワーク環境構築事業	①新型コロナウイルス感染症が拡大した場合に備え、リモートワークへの対応するための環境整備を図り、職員の安全を確保する。また、コロナ禍で増加したWEB会議等への対応するための環境を整備する。 ②町職員、役場庁舎	IV-3. リモート化等による デジタル・トランスフォーメーションの加速	4,307,820	4,307,820	0	3,969,438	0	338,382	0	事業費計：4,307,820円 ・テレワーク環境構築業務：2,970,000円 環境構築等作業費　1,702,800円 LGWAN-ASPサービスパッケージライセンス1,267,200円 ・テレワーク用端末機器等購入：945,120円 テレワーク用端末機器（12台）　818,400円 USBマウス（12個）　11,880円 Webカメラ（12台）　114,840円 ・Web会議用機器購入：392,700円 スティック型PC（2台）　42,900円 タッチパネルモニタ（2台）　83,600円 スピーカーフォン（2台）　24,200円 Webカメラ（2台）　27,060円 USB充電器（2台）　3,300円 USBケーブル（2本）4,840円 モニタースタンド（2台）　61,600円 短焦点プロジェクター（1台）　145,200円	テレワーク環境を構築したことにより、町職員の新型コロナウイルス感染症の感染リスクを軽減する環境づくりの基盤が整備できた。 また、コロナ禍において、オンライン・WEB会議等が増加したことに伴い、関連機器の整備を図り、感染防止対策や移動時間の削減、会議場所の確保が不要になるなど業務の効率化を図ることができた。	企画財政課
35	単	里山登頂スタンプラリー事業	①コロナ禍でも安心して気軽に登れる里山を活用し、道の駅その他町内販売店での消費等を促すため、ラインサービスを活用し、スタンプ及び台紙を電子化し、町内外の参加者が登頂時にスマホでスタンプを取得できるスタンプラリーを実施する。 ②里山登山者（ライン利用者）	Ⅲ-2. 地域経済の 活性化	3,542,000	3,542,000	0	3,263,774	0	278,226	0	事業費計：3,542,000円 ・機能構築運営業務委託：3,542,000円	・町公式LINEへのスタンプラリー機能追加 コロナ禍における新たな観光需要として、町内の里山を訪れる登山客のために、また、町内販売店での消費促進にも繋がる周遊イベント等に活用できる機能を構築することができた。	産業課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	①事業の概要 ②事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策との関係	A（単位：円）						事業実績（経費内容）	事業効果	所管課	
					総事業費（決算額）	B 補助対象事業費	C 国庫補助額	D 交付金充当額	E その他	F 一般財源				G 補助対象外経費
36	単	オンライン避難届受付システム構築事業	①感染症対策として出来るだけ分散して避難していただく必要があるため、これまで以上に「マイ避難」を有効に活用していくことが求められている。自治体が開設した避難所以外に避難した住民の避難届け出をラインサービスを活用してオンラインで受付できるようにし、避難者の把握を効率的に行えるようにする。 ②町民（避難者）	I-6. 情報発信の充実	2,417,800	2,417,800	0	2,227,880	0	189,920	0	事業費計：2,417,800円 ・オンライン避難届システム構築業務委託料：2,417,800円円	自治体が開設した避難所以外に避難している住民の避難届け出を、LINEサービスを活用してオンラインで受付できるようにシステムを構築したことで、災害時に避難所が密になり感染拡大を防ぐ体制が構築できた。	総務課
37	単	防災行政無線アナウンスのホームページ連携事業	①防災行政無線で放送している音声を自動的にホームページにも転送し、スマホやタブレットなど町民が保有しているデバイスから放送内容を音声及び文字情報で繰り返し視聴できる環境を構築し、新型コロナウイルス感染に関する情報や防災情報などを迅速かつ確実に伝達できるようにする。 ②町民	I-6. 情報発信の充実	3,946,800	3,946,800	0	3,636,776	0	310,024	0	事業費計：3,946,800円 ・防災行政無線情報発信HP連携プログラム作成委託料：976,800円 ・防災行政無線情報発信HP連携機能追加業務委託料：2,970,000円	防災行政無線で放送している音声を自動的にホームページにも転送し、町民がスマホやタブレットで放送内容を音声及び文字情報で繰り返し視聴できる環境を構築したことで、新型コロナウイルス感染症に関する情報を迅速かつ確実に伝達でき、町民への十分な周知を図ることができた。	総務課
38	単	密集軽減等のための輸送能力強化事業	①新型コロナウイルス感染症対策として、ワゴン車両の導入することにより、各種事業等で使用する際の車内の密状態を軽減し、感染症拡大の防止を図る。また、軽貨物ワゴン車の導入により、災害時の避難所に新型コロナウイルス感染症対策用物品類を機動・効率的に運搬することができ、災害時の感染拡大防止する環境整備を図る。 ②町民、避難所、町職員	I-1. マスク・消毒液等の確保	5,190,780	5,190,780	0	4,783,040	0	407,740	0	事業費計：5,190,780円 ・10人乗ワゴン車購入：3,719,000円 ・軽貨物車購入：1,471,780円	10人乗りワゴン車を購入することにより、車内での密状態を回避し、新型コロナウイルス感染症の対策をすることができた。 また、軽貨物車を導入することにより、避難所への感染症対策物資輸送の体制を整備することができた。	総務課
39	単	新生児特別定額給付金	①国の特別定額給付金の対象外となっているR2.4.28以降に生まれた新生児を対象に給付金を交付することで、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯への経済的支援を図る。 ②新生児	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	3,200,000	3,200,000	0	3,187,272	0	12,728	0	事業費計：3,200,000円 ・新生児特別定額給付金：3,200,000円	給付金支給件数 32人 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、感染への不安を抱えながら子育てする保護者の経済的な支援に寄与することができた。	子育て支援課
40	単	古閑裕而ゆかりのまち施設等整備事業	①古閑裕而氏をモデルにしたNHK連続テレビ小説「エール」の放送を契機とし、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいる地域経済等を活性化するため、ゆかりのある河股城跡の散策道の整備し、まちの魅力アップを図る。 ②町民、観光客、河股城跡の散策道	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	2,189,000	2,189,000	0	2,017,053	0	171,947	0	事業費計：2,189,000円 ・河股城跡散策道（庚申坂）整備工事：2,189,000円	HNK連続テレビ小説「エール」の放送を契機として、主人公とゆかりのある河股城跡の散策道の整備を行うことで、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んでいる地域経済や地域の魅力向上に寄与することができた。	生涯学習課
41	単	戸別受信機設置事業	①防災行政無線で周知している新型コロナウイルス感染症に関連する情報を町民に的確に伝えるため、難聴地域世帯に戸別受信機を配布する。 ②防災行政無線難視聴世帯	I-6. 情報発信の充実	26,621,100	26,621,100	0	24,529,993	0	2,091,107	0	事業費計：26,621,100円 ・戸別受信機購入費：2,200,000円 ・戸別受信機設置委託料：4,621,100円	防災行政無線で周知している新型コロナウイルス感染症に関連する情報を町民に的確に伝えるため、戸別受信機を難聴地域世帯等に貸与することで、町民への十分な周知を図ることができた。	総務課
42	単	火葬場施設運営事業	①新型コロナウイルス感染症により死亡した者を火葬する際の感染防止対策として、防護服等を購入する。 ②町民、川俣町火葬場	I-1. マスク・消毒液等の確保	123,035	123,035	0	113,371	0	9,664	0	事業費計：123,035円 ・除菌ハンドジェル 15本、設置用カウンターチェア 3台：29,040円 ・アルコール消毒液、噴霧器、設置用スタンド 3セット：38,995円 ・防護服、ゴーグル、手袋 10セット：55,000円	除菌ハンドジェル及びアルコール消毒液を設置し、会葬者に手指の除菌を徹底してもらうことにより、新型コロナウイルス感染症のまん延を防止することができた。 また、防護服を準備することにより、火葬場職員の新型コロナウイルス感染症防止対策を図ることができた。	町民税務課
43	単	織物展示館新型コロナウイルス感染症対策事業	①新型コロナウイルスによる感染防止のため、おりものの展示館職員を増員し、来館者への対応を行う。臨時職員を増員することにより、来館者への対応（検温や手指消毒）や人が触れる箇所の消毒などが徹底され、感染拡大を防止するとともに、利用者の安心・安全が確保する。 ②施設利用者、織物展示館	I-1. マスク・消毒液等の確保	1,003,680	1,003,680	0	924,840	0	78,840	0	事業費計：1,003,680円 ・感染症対策追加人員に係る業務委託料：1,003,680円	令和2年6月～令和3年3月までの感染対策追加人員数：1名 来館者への対応（検温や手指消毒）や人が触れる箇所の消毒などが徹底され、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するとともに、利用者の安心・安全が確保され、館内での感染防止が徹底された。	産業課
44	単	川俣中学校修学旅行キャンセル料補助事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により川俣中学校の修学旅行が中止になったため、修学旅行のキャンセル料を補助し、保護者の負担を軽減する。 ②川俣中学校3年生 102名	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	1,024,634	1,024,634	0	944,148	0	80,486	0	事業費計：1,024,634円 ・修学旅行キャンセル料に対する補助：1,024,634円	新型コロナウイルス感染症が拡大した影響で、中止等となった修学旅行のキャンセル料を補助することにより、保護者の経済的負担の軽減に寄与することができた。	学校教育課
45	補	子ども・子育て支援交付金	①新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、学校休校時の子どもの居場所を確保するため、放課後児童クラブを臨時開所する。 ②放課後児童クラブ（わいわいクラブ）	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	76,000	76,000	25,000	23,958	25,000	2,042	0	事業費計：26,000円 ・臨時開所時スタッフ人件費：26,000円	新型コロナウイルス感染症拡大により学校が休校となったことで、必要となった子どもの居場所を確保し、学校休業等を円滑に進めるための環境整備を講じることができた。	子育て支援課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	①事業の概要 ②事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策との関係	A（単位：円）						事業実績（経費内容）	事業効果	所管課	
					総事業費（決算額）	B 補助対象事業費	C 国庫補助額	D 交付金充当額	E その他	F 一般財源				G 補助対象外経費
46	補	学校保健特別対策事業費補助金	①町内小中学校においてマスクや消毒液等衛生管理用品を購入し、新型コロナウイルス感染症の感染防止を図る。 ②児童・生徒	I-1. マスク・消毒液等の確保	236,000	236,000	118,000	108,731	0	9,269	0	事業費計：236,000円 ・消毒用アルコール等 214,391円 ・ハンドソープ 9,099円 ・マウスシールド 1,260円 ・清掃用品 3,432円 ・ディスペンサー用乾電池 2,090円 ・マスク等 5,728円	対象：町内小中学校3校 小中学校における感染症対策用物品の購入を補助することにより、学校内における新型コロナウイルス感染症の感染防止に寄与することができた。	学校教育課
47	補	学校保健特別対策事業費補助金	①町内小中学校において衛生管理用品（消耗品、備品等）を整備し、新型コロナウイルス感染症の感染症対策を徹底することで、教育活動の再開や児童生徒の学習保障を支援する。 ②児童・生徒	I-1. マスク・消毒液等の確保	6,665,497	6,665,497	3,332,000	3,071,648	0	261,849	0	事業費計：6,665,497円 ・扇風機 26,394円 ・用紙類 13,515円 ・トナー等 151,749円 ・学習プリント 19,800円 ・消毒用アルコール等 432,591円 ・マスク 21,540円 ・ハンドソープ 60,730円 ・スプレーボトル等 295,835円 ・使い捨て手袋 36,828円 ・バルスコキシメータ 9,680円 ・体温計等 215,940円 ・熱中症防止用品 68,018円 ・消毒液スタンド 210,230円 ・パーテーション 585,036円 ・仕切り用スクリーン 18,000円 ・空気清浄機 2,173,378円 ・給食用台車 86,900円 ・掃除機等 232,980円 ・マット等 991,200円 ・自動手指消毒器 46,530円 ・マウスシールド等 19,480円 ・網戸 504,130円 ・ワイヤレスマイク 29,150円 ・ビジネスプロジェクター 214,500円 ・アルコールウェットシート 594円 ・ペーパータオル等 31,340円 ・清掃用品 160,983円 ・消毒液管理用品 8,446円	対象：町内小中学校7校 小中学校における感染症対策用物品の購入を補助することにより、学校内における新型コロナウイルス感染症の感染防止に寄与することができた。	学校教育課
48	補	公立学校情報機器整備費補助金	①コロナ禍における学校との遠隔授業を行うために、円滑に実施できる環境を整備する。 ②児童・生徒、小・中学校	IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	166,320	166,320	83,000	76,775	0	6,545	0	事業費計：166,320円 ・WEBカメラ、スピーカーフォン 7台	学校等においてWEBカメラとスピーカーフォンを調達したことにより、コロナ禍において増加した遠隔学習やオンライン授業等に向けた環境整備に寄与することができた。	学校教育課
49	補	母子保健衛生費補助金	①新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、3密を避け、乳幼児健診を個別に医療機関で実施する。 ②乳幼児健診該当児	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	98,836	98,836	35,000	34,094	0	29,742	0	事業費計：98,836円 ・3～4か月児健診、9～10か月児健診：97,614円 ・郵便料：1,222円	・実施人数 18人 乳幼児健診を個別に受診することにより、新型コロナウイルス感染拡大防止・保護者の不安の軽減に寄与することができた。	保健福祉課
50	補	介護保険事業費補助金	①新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、通いの場が活動自粛しているため、高齢者がフレイル状態になることを予防することを目的に、フレイル予防のチラシを作成し全戸配布、各サロン等での配布をする。 ②町民	I-1. マスク・消毒液等の確保	198,000	198,000	132,000	60,816	0	5,184	0	事業費計：198,000円 ・フレイル予防パンフレット印刷製本費：198,000円	・6,000部印刷（全戸及び各サロン等へ配布） コロナ禍により高齢者等の外出自粛が増えたため、フレイル予防パンフレットを製し、全戸配布及びサロン等へ配付することで、フレイル予防について周知し、高齢者等のフレイル予防に寄与することができた。	保健福祉課
51	補	学校臨時休業対策費補助金	①学校給食費返還等事業（新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、臨時休業の期間において、学校給食事業者に対してすでに発注されていた食材にかかる違約金を負担する） ②福島県学校給食会	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	435,713	435,713	326,000	101,095	0	8,618	0	事業費計：435,713円 ・学校給食費返還事業：435,713円	新型コロナウイルス感染症に拡大により、臨時休業となった学校の給食費を返還したことで、保護者の負担軽減に寄与することができた。	学校教育課
52	補	疾病予防対策事業費等補助金	①新型コロナウイルス感染症の感染した場合、高齢者及び基礎疾患を有する者は重症化するリスクが高いため、高齢者の希望によりPCR検査を実施し感染者の早期発見と重症者の増加を抑制する。 ②高齢者及び基礎疾患を有する者	I-2. 検査体制の強化と感染の早期発見	0	0	0	0	0	0	0	事業実施無し	事業実施無し	保健福祉課

No	補助・単独	交付対象 事業の名称	①事業の概要 ②事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策 との関係	A（単位：円）							事業実績 （経費内容）	事業効果	所管課
					総事業費 （決算額）	B 補助対象 事業費	C 国庫補助額	D 交付金 充当額	E その他	F 一般財源	G 補助対象外 経費			
53	単	成人式貸衣 装解約助成 金事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため成人式が延期となったため、新成人へ貸衣装解約の助成を行う。 ②令和2年度新成人	①-Ⅱ-4．生活に困っている世帯や個人への支援	30,000	30,000	0	30,000	0	0	0	事業費計：30,000円 ・成人式貸衣装解約助成金事業：30,000円	補助件数：1名 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために成人式が延期となったに新成人に対し、貸衣装解約助成金の交付を行い新成人者の経済的負担の軽減に寄与することができた。	生涯学習課
54	単	高齢者福祉 サービス利用 促進対策事業	①新型コロナウイルス感染症の重症化リスクの高い高齢者が、福祉サービスを利用するの際、不特定の方が集まる窓口での申請の機会を減らすため、訪問用して申請ができるよう環境の整備を図る。 ②福祉サービス利用者、町職員	Ⅱ-4．生活に困っている世帯や個人への支援	1,780,792	1,780,792	0	1,640,909	0	139,883	0	事業費計：1,780,792円 ・小型乗用車購入費用：1,780,792円	高齢者が福祉サービスや介護保険の申請を希望する場合、新型コロナウイルス感染症への感染の心配から来庁に消極的となるため、ご自宅に訪問して申請を受け付けることにより、サービス利用を控えることを防ぐことができた。	保健福祉課
55	単	高齢者外出 支援事業	①コロナ禍において、外出を控えている高齢者のフレイルを予防するために、生きがいデイサービスへの送迎を実施し、より参加しやすい体制を整備する。 ②生きがいデイサービス参加者	Ⅱ-4．生活に困っている世帯や個人への支援	2,949,224	2,949,224	0	2,717,560	0	231,664	0	事業費計：2,949,224円 ・8人乗り乗用車購入費：2,949,224円	コロナ禍において在宅時間の増えた介護認定を受けていない高齢者の生きがいデイサービスの参加促進のため、送迎車両を整備することで、閉じこもり予防、フレイル予防に寄与することができた。	保健福祉課
56	単	救急医療情報 キット配布事業	①一人暮らし高齢者、高齢者世帯、障害を有する方等が体調を崩し救急搬送を要請した際に、救急隊員が必要な情報を素早く入手できるよう、必要事項を記入した用紙を容器に入れて保管しておくものを整備し、新型コロナウイルス感染症の拡大時における医療機関等の負担軽減を図る。 ②一人暮らし高齢者、高齢者世帯、障害を有する方等	Ⅰ-1．マスク・消毒液等の確保	203,500	203,500	0	187,515	0	15,985	0	事業費計：203,500円 ・救急医療情報キット購入費：203,500円	・1,000個購入 コロナ禍において、救急隊員が救急搬送者に聞き取りをする際、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを軽減できるとともに、必要な情報が容易に確認できることで、救急搬送までの時間を短縮し医療機関等への負担軽減を図ることができた。	保健福祉課
57	単	庁用物品管理 事業	①新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るため、各種会議や窓口での手続等を郵送で行うための封筒を印刷する。 ②町民	Ⅰ-6．情報発信の充実	71,500	71,500	0	65,883	0	5,617	0	事業費計：71,500円 ・封筒印刷製本費：71,500円	・角2封筒5,000枚印刷 各種会議については書面開催、窓口での手続等については申請書や通知書を郵送し手続きを行うことにより、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図ることができた。	会計室
58	単	バス路線維持 対策事業	①コロナ禍においても日常生活を維持するため、運休をすることなく便数を維持したバス事業者へ、必要な経費を支援する。 ②町内バス事業者	Ⅱ-3．事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	6,367,658	6,367,658	0	5,867,474	0	500,184	0	事業費計：6,367,658円 R2. 4～9月：19,936,313円 ① H31.4～9月：15,148,111円 a R2. 4～9月：10,310,313円 b 前年比 (b/a) c 交付申請額(①* (1-c)) =6,367,658円	コロナ禍で利用者が減少している中で、収入が見込めないにも関わらず減便せずに運行したバス事業者へ支援したことで、健全な公共交通への運営に寄与することができた。	企画財政課
59	単	パーソナル知育 絵本配布準備事業	①新型コロナウイルス感染症対策のために、増加した在宅時間の中で、子どもが絵本と触れ合う機会を増やし、さらにその絵本が子どもの言葉の理解・発達を促すために、一人ひとりの子どもの年齢や言葉の成長状態に合わせたパーソナル知育絵本を配布する。 ②9・10か月児、1歳6か月児、2歳6か月児	Ⅱ-4．生活に困っている世帯や個人への支援	110,000	110,000	0	101,359	0	8,641	0	事業費計：110,000円 ・パーソナル知育絵本デザイン作成料：110,000円	新型コロナウイルス感染症対策のために増えた在宅時間の中で、子どもが絵本と触れ合う機会を増やすために知育絵本を作成することで、自宅での時間を安心して過ごしてもらうための準備をすることができた。	子育て支援課
60	単	町立幼稚園空調 整備事業	①町立幼稚園2園に網戸を設置し、定期的な換気をすることで、新型コロナウイルス感染症の感染予防を図る。 ②川俣南幼稚園・富田幼稚園2園	Ⅰ-1．マスク・消毒液等の確保	352,000	352,000	0	324,350	0	27,650	0	事業費計：352,000円 ・網戸設置工事費：352,000円	対象施設 2施設 網戸設置により、定期的に換気を行うことができ、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じることができた。	子育て支援課
61	単	放課後児童クラブ における感染 防止対策事業	①放課後児童クラブの手洗い場2か所を自動水栓にし、蛇口への接触を減らすことで、新型コロナウイルス感染症の感染予防を図る。また、利用者送迎用タクシー利用を増便することで、送迎を分散させ3密対策を図る。。 ②放課後児童クラブ（わいわいクラブ）	Ⅰ-1．マスク・消毒液等の確保	553,830	553,830	0	510,327	0	43,503	0	事業費計：553,830円 ・手洗い場自動水栓更新工事代：145,200円 ・送迎タクシー代：408,630円	対象施設 1施設 手洗い場を自動水栓にすることにより、接触機会を減らすことおよび、送迎用タクシーを増便することにより3密対策となり、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を図ることができた。	子育て支援課
62	単	スクールバス 購入事業	①学校でスクールバスを使用する際に、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として密状態を避けるため、車両を追加で購入し、感染拡大防止を図る。 ②児童・生徒	Ⅰ-1．マスク・消毒液等の確保	40,049,702	40,049,702	0	36,903,768	0	3,145,934	0	事業費計：40,049,702円 ・自動車損害保険料 81,840円 ・重量税 22,200円 ・リサイクル料等諸費用 345,662円 ・車両購入費 39,600,000円	購入台数等：マイクロバス 6台 通学用スクールバスを増台し、通学時の密状態を回避することで、新型コロナウイルス感染症拡大を防止することができた。	学校教育課
63	単	川俣中学校 トイレ改修 事業	①新型コロナ感染症を防止するため、川俣中学校のトイレの改修工事を行い、接触機会の低減や十分な換気ができるようにする。 ②川俣中学校、生徒	Ⅰ-1．マスク・消毒液等の確保	14,190,000	14,190,000	0	13,075,365	0	1,114,635	0	事業費計：14,190,000円 川俣中学校トイレ改修工事 14,190,000円	男子トイレに自動洗浄機能、換気扇を設置することにより、接触機会の低減及び換気機能の強化を実施し、新型コロナウイルス感染症予防を図ることができた。	学校教育課

No	補助・単独	交付対象 事業の名称	①事業の概要 ②事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策 との関係	A（単位：円）						事業実績 （経費内容）	事業効果	所管課	
					総事業費 （決算額）	B 補助対象 事業費	C 国庫補助額	D 交付金 充当額	E その他	F 一般財源				G 補助対象外 経費
64	単	新型コロナ ウイルス感 染症予防対 策事業（保 健セン ター）	①保健センター利用者の新型コロナウイルス感染症の感染及びクラスター発 生の対策を強化する。 ②町民、施設利用者	I-1、マ スク・消 毒液等の 確保	192,500	192,500	0	177,379	0	15,121	0	事業費計：192,500円 ・ 顔認証カメラ付き体温感知器：192,500円	・ 保健センターに1台設置 来所者が、自ら検温を実施することにより新型コロナ ウイルイス感染防止対策を講じることができた。	保健福祉課
65	単	新型コロナ ウイルス感 染症予防対 策事業（子 育て支援）	①新型コロナウイルス感染症の感染症拡大防止のため、アプリを導入して、 来庁しなくても子育ての情報を発信したり、相談に応じることで、コロナ禍 での育児不安の軽減を図る。 ④乳幼児の保護者	I-6、情 報発信の 充実	352,000	352,000		324,350		27,650	0	事業費計：352,000円 ・ 電子母子手帳サービス初期設定費： 330,000円 ・ オンライン相談利用料（2ヶ月分）： 22,000円	電子母子手帳サービスを導入したことにより、コロナ 禍において、来庁せずに育児相談を受付けることがで きる体制を構築し、子育ての情報を発信し、コロナ禍 での育児不安を軽減することができた。	保健福祉課
66	単	新型コロナ ウイルス感 染症予防対 策事業（小 型遺伝子検 査機器検査 機器）	①新型コロナウイルス感染症の検査結果を短時間で判断できる機器の購入を 助成し、多くの町民の検査を実施できる体制を整備する。 ②町内医療機関	I-2、検 査体制の 強化と感 染の早期 発見	4,413,200	4,413,200	0	4,066,540	0	346,660	0	事業費計：4,413,200円 ・ 医療提供体制等構築事業補助金： 4,413,200円 （小型遺伝子検査機器導入）	・ 医療機関1箇所に小型遺伝子検査機器設置 等温核酸増幅法による小型遺伝子検査機器は、PCR 検査に比べ短時間に判断できたため、新型コロナウイ ルス感染の感染のまん延予防に寄与することができ た。	保健福祉課
67	単	新型コロナ ウイルス感 染症予防対 策事業（避 難所 保健 センター）	①冷凍冷蔵庫を整備することで、3密を避け調理実習を少人数で回数を増や して実施し、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する。また、災害時の 避難者に発熱者がでた場合に備え、製氷機としても使用できる冷凍冷蔵庫を 整備する。 ②保健センター利用者	I-1、マ スク・消 毒液等の 確保	729,300	729,300	0	672,013	0	57,287	0	事業費計：729,300円 ・ 冷蔵冷凍庫：729,300円	・ 保健センター 1台設置 コロナ禍における調理実習等の事業を、3密を避けて 安心・安全に実施することができた。 また、当該施設は災害時等における避難所になるた め、製氷機能のある冷凍冷蔵庫を設置し、災害時の新 型コロナウイルス感染症への対応への準備を図ること ができた。	保健福祉課
68	単	出退勤にお ける新型コ ロナウイル ス感染予防 事業	①職員出退管理方式をタイムカード（接触型）からICカードリーダー（非 接触式）へ変更し、接触機会の低減させ新型コロナウイルス感染症の拡大防 止を図る。 ②町職員、役場庁舎、中央公民館	I-1、マ スク・消 毒液等の 確保	491,700	491,700	0	453,077	0	38,623	0	事業費計：491,700円 ・ 職員出退勤時刻受付端末等2台：491,700 円	職員証を使った非接触型出退勤管理端末を導入するこ とにより、職員間の接触機会の軽減を図り、新型コロ ナウイルス感染症の感染対策を図る基盤整備ができ た。	総務課
69	単	道の駅川俣 及びとんや の郷新型コ ロナウイル ス感染症対 策事業	①道の駅川俣の各施設及びとんやの郷の、新型コロナウイルス感染症の感染 防止を図り、施設を訪れる方が安心して利用できるようにする。 ②施設利用者、道の駅川俣及びとんやの郷	I-1、マ スク・消 毒液等の 確保	2,323,024	2,323,024	0	2,140,548	0	182,476	0	事業費計：2,323,024円 ・ 顔認証体温測定カメラ：495,000円 ・ 非接触式検温器および自動消毒液噴射 機：797,500円 ・ 消毒液：1,030,524円	道の駅およびとんやの郷施設内に消毒液および顔認証 体温測定カメラ等を設置したことで、安心・安全に施 設を利用してもらい、来場者の新型コロナウイルス感 染防止に寄与することができた。	産業課 原子力災害対 策課
70	単	川俣町新型 コロナウイル ス感染症 対策に係る 商工業者支 援	①新型コロナウイルス感染症の長期化・拡大により、多大な影響を受けてい る町内事業所の事業継続、雇用の維持等、町内経済の維持を目的として、町 内事業所の支援を図る。 ②町内事業所	II-1、雇 用の維持	78,900,000	78,900,000	0	62,835,827	0	16,064,173	0	事業費計：78,900,000円 ・ 事業者支援給付金 50,700,000円 ・ 事業者支援一時金 28,200,000円	・ 支給件数 246件 ・ 支給件数 99件 新型コロナウイルスの影響により売上が減少した町内 事業者に対して支援したことで、町内事業者の事業継 続および本町経済の維持に寄与することができた。	産業課
71	補	学校保健特 別対策事業 費補助金	①新型コロナウイルス感染症の感染リスクを最小限にしながら、円滑に教育 活動を継続するため、町内小中学校における感染症対策や教職員の研修支 援、児童生徒の学びの保障に関する体制整備を支援する。 ②児童・生徒、教職員、小・中学校	①-I- 1、マ スク・消 毒液等の確 保	5,249,401	5,249,401	2,624,000	2,419,171	0	206,230	0	事業費計：5,249,401円 ・ アルコールシート等 190,765円 ・ ペーパータオル 67,323円 ・ ハンドソープ 7,270円 ・ 消毒用アルコール 313,297円 ・ 体温測定器等 1,400,006円 ・ パルスオキシメータ 8,800円 ・ 消毒液スタンド等 238,356円 ・ パーテーション 526,476円 ・ マスク等 41,338円 ・ 加湿空気清浄機 1,375,000円 ・ 電気温水器 246,400円 ・ エアコンクリーニング 484,000円 ・ CO ₂ マネージャー 82,390円 ・ デジタル書画カメラ 46,968円 ・ 給食運搬車 101,200円 ・ 研修図書 113,542円 ・ アルカリ乾電池 6,270円	対象：町内小中学校7校 小中学校における新型コロナウイルス感染症対策用物 品の購入や、新型コロナウイルス感染症の影響により 研修機会を逸した教職員のための研修図書の購入等 を補助した。これにより、コロナ禍における感染拡大 を抑えながら児童生徒の学びの保障の体制整備に寄与 することができた。	学校教育課